

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日

R7.6.9

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市千年交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字原ケ平5丁目1番地13
指定管理者名	千年地区町会連合会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。	
2 自主事業の実施状況 8月に救急救命士による救命入門コースの講習を実施した。	
3 市民サービス向上のための取組状況 受付時に利用者に声掛けをし、要望等の聞き取りをして円滑に利用できるよう心がけ、冬期間の駐車場の除雪など、環境美化に努めている。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 アンケート調査により利用者からの意見、希望を把握し、施設管理、運営に反映できないか検討している。	
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など） 令和6年度の利用許可件数は2,094件、利用者数は24,559人となっており、利用許可件数、利用者数ともに前年度を上回る数値となっている。 （参考：令和5年度 利用許可件数2,053件、利用者数22,990人）	
6 指定管理業務の収支状況 施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数: 目標 2,308件 実績 2,094件 達成度 90.7%
 利用者数: 目標26,054人 実績24,559人 達成度 94.2%
 満足度: 目標 90% 実績 91.8% 達成度102.0%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	感染症法上の位置付けが「5類」になったことで自主事業を行いました。引き続き消毒(貸出器具、テーブル、椅子等)、換気、密にならないように部屋割りを徹底して行いました。	さらなる職員の結束を図り、利用者ニーズの把握に努めサービスの向上を図りたい。
施設の管理	A	利用者の安全確認の見回りは徹底しています。見回することで危険行為への抑制にもなります。	夜間利用客のタバコポイ捨てが見受けられるので、外回りの巡回をする。利用者への周知徹底。
経理の状況	A	経理事務や業務等に係る資料および発生した使用料は、翌日の払込時までに金庫にて保管を徹底し払込も遅延がありません。	使用料の保管と事務処理にミスがないようチェック体制を強化する。
団体の財務状況	B	毎月の支出状況を確認し、職員間で話し合い必要な消耗品の購入をしています。又利用者からの要望にも耳を傾け必要に応じて購入しております。	経費削減を心がけ、効率的な経費の使用に取り組んでいきたい。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めた。	基本的なサービス向上を図るためのアンケートの実施を継続するとともに、利用者増加を図るための魅力的な自主事業の実施に期待する。
施設の管理	A	敷地内のさわらの枝が隣接するりんご畑に入り込まないように枝の伐採、冬期間の駐車場の除雪など、環境美化に努めている。また、照明の交換など、設備の保守に努めている。	今後も利用者の安全のため、設備の保守、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する